

医療機関における

「感染症版BCP」策定の手引き

< 改訂版 >

令和8年(2026年)3月

札幌市保健所

目次

はじめに.....	1
第1章 感染症版BCPの目的と留意事項.....	2
1. 本手引きの位置付け.....	2
2. 感染症版BCPとは.....	2
3. BCP策定における留意事項.....	4
(1)医療機関の役割に応じたBCP策定.....	4
(2)入れ替わる職員に対する記録.....	4
(3)機関内の体制づくり.....	4
(4)BCPへの意識醸成.....	5
第2章 BCPの構成案.....	6
1. BCPに記載すべき事項.....	6
2. BCPの項目別内容.....	7
3. BCP全体で記載すべき要素.....	8
第3章 BCPの項目別記載内容.....	9
1. 基本方針.....	9
(1)BCP策定の目的.....	9
(2)業務継続に関する基本方針.....	10
(3)フェーズの分類と定義.....	11
2. 平時対応.....	13
(1)体制整備.....	13
(2)情報収集体制.....	14
(3)連絡・情報提供体制.....	16
(4)ゾーニング.....	17
(5)備蓄品の確保.....	19
(6)外部連携.....	21
(7)研修・訓練の実施.....	22
3. 初動対応.....	23
(1)第一報からの対応.....	23
(2)対策本部.....	25
(3)感染者・感染疑い者への対応.....	27
4. 感染拡大防止体制の確立.....	28
(1)業務内容の調整.....	28
(2)職員の確保.....	30
(3)病床の確保.....	31

(4)防護具、消毒液等の確保.....	32
(5)特別な配慮を要する患者の対応.....	33
(6)機関内での情報共有.....	35
(7)労務管理・過重労働・メンタルヘルス対策.....	36
(8)患者や地域住民等への周知(情報発信).....	38
5. BCPの検証・見直し.....	39
参考 感染症版BCP策定時のチェックリスト.....	40
付録 BCPの策定例.....	44
1. 病院の例.....	44
2. 診療所の例.....	50

はじめに

BCPとは Business Continuity Plan の略称で、災害などの緊急事態においても企業や団体の業務を中断させないように準備し、また、業務の一部を中断せざるを得ない場合であっても、優先業務を継続的に実施できるよう、あらかじめ方針や体制、手順等を明文化した業務継続計画のことである。

地震など自然災害発生時に備えたBCPについては、これまで医療機関において策定が進められているところではあるが、令和2年に発生し、3年以上の長期に渡り流行した新型コロナウイルス感染症では、医療機関の職員等の感染による診療体制継続の難しさや、院内感染やクラスター発生への対応、医療資材の不足への対策など、感染症対応を行いながらの通常診療継続等の課題が明らかとなり、新たに感染症危機発生時に特化した「感染症版BCP」の策定が求められている。

一般に、自然災害の被災地域は、特定の地域に限定され、また期間も限られるが、新型コロナウイルス感染症のような感染症パンデミックは長期、かつ全国的に流行する恐れがあり、自然災害と比較して外部からの支援が十分に届かない事態も想定される。また、感染症パンデミックの発生は定義しにくく、実際にどのような状況でBCPを発動すべきかの判断も難しい。

本手引きは、令和6年度に札幌市が作成した「医療機関における『感染症版 BCP』策定の手引き」について、令和7年度に実施した「感染症版BCP」の策定支援の成果を踏まえ、改訂したものである。多くの医療機関で参考にさせていただき、感染症版BCP整備の一助にさせていただきたい。